

承和 6 年 (839)	實相院創建
建武 2 年 (1335)	この頃から文和 4 年 (1355) にかけて今戸付近に板碑が造られる
宝永年中 (1704~1710)	實相院第 7 世法印正智大和尚代に本尊阿弥陀如来を寄付される
文化 6 年 (1809)	菅江真澄が今戸村實相院で板碑・大槻木を見る
天保 3 年 (1832)	今戸村重右衛門外 7 名が實相院より往来証文をうける
明治24年 (1891)	第25世加藤輪能師が秋田市の普伝寺より入寺 本堂が再建
明治26年 (1893)	5 月 8 日、本堂及び庫裏が火災により焼失
明治32年 (1899)	前本堂及び前庫裏が建立
明治37年 (1904)	八郎潟埋め立て開田地のうち 2 町歩を今戸全住民148名より 實相院修繕用田地として寄進される
明治42年 (1909)	位牌堂を増築
明治44年 (1911)	門前石橋を架設
大正元年 (1912)	本堂及び庫裏の屋根をふき替えする
大正 2 年 (1913)	庫裏を増築・修繕
大正 5 年 (1916)	石門が建立
大正14年 (1925)	9 月 7 日、第26世阿闍梨少僧が都恭如遷化する 11月、第27世加藤恭明師が入寺
昭和16年 (1941)	宗教団体法により賢蔵院を實相院の所属にする事とする
昭和17年 (1942)	2 月、賢蔵院を實相院の所属にする事が承認される
昭和21年 (1946)	農地改革諸法令により全農地（3 町 3 反歩）を開放
昭和37年 (1962)	9 月 1 日、位牌堂用地として隣接地約39坪を購入
昭和45年 (1970)	護持会が結成
昭和46年 (1971)	4 月、第28世工藤智敬師が入寺 畠地を墓地として28区画を造成
昭和49年 (1974)	6 月23日、位牌堂及び庫裏の落慶式典を行う
昭和53年 (1978)	3 月13日、第27世阿闍梨少僧が都恭如遷化する
昭和54年 (1978)	門前に駐車場を整備
昭和56年 (1981)	真言宗智山派元官長芙蓉良順猊下が御親教する 實相院の板碑 8 基が町の文化財に指定される 墓地41区画を造成
昭和58年 (1983)	實相院の板碑 1 基と阿弥陀如来立像 1 体が町の文化財に指定される
昭和59年 (1984)	歴代住職の墓を移転建立
昭和63年 (1988)	10月13日、開創1150年記念大法要厳修 實相院寺誌発刊
平成 4 年 (1992)	本堂建設発願
平成 6 年 (1994)	3 月、本堂建設着工
平成 7 年 (1995)	12月、本堂建設完工 3 月、本堂落慶法要厳修
平成20年 (2008)	8 月、暗渠埋設工事
平成21年 (2009)	8 月、駐車場改修
平成24年 (2012)	7 月、位牌堂増築
平成27年 (2015)	12月、本堂トイレ改修
令和 2 年 (2020)	12月、本堂内陣及び外陣の一部照明LED化
令和 3 年 (2021)	7 月、本堂音響設備更新 12月、實相院ホームページ開設
令和 4 年 (2022)	9 月、本堂防犯カメラ増設及び更新
令和 5 年 (2023)	4 月21日、宗祖弘法大師ご誕生1250年慶讃宗祖弘法大師御影供嚴修 10月、庫裏外壁改修・屋根塗装工事